

第4学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語	
4月	1 物語をくふうして音読しよう	こわれた千の楽器	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。	5	13	○			○	○	【関】物語を楽しんで音読したり、暗唱したりしようとしている。 【読】物語から読み取った場面の様子や人物の気持ちがよく分かるように、工夫して音読している。 【言】修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な知識をもっている。	内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する。☆
		図書館へ行こう	・図書館の配架と本の分類を知り、本の探し方を確かめる。	1		○			○	【関】本の探し方に興味をもち、読書に親しもうとしている。 【読】図書館の配架と本の分類を知り、読書に親しんでいる。	必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む。C(2)オ	
		心の動きを文章に書こう	・気持ちが伝わるように工夫して文章を書く。	4		○		○	【関】自分の気持ちが読み手に伝わるように文章を書こうとしている。 【書】読み手に気持ちが伝わるように、心が大きく動いた部分を詳しく書いたり、気持ちを表す言葉を工夫して書いたりしている。	目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。☆		
		漢字の読み方に気をつけよう 漢字の練習	・漢字の音訓や送り仮名について理解する。	3		○			○	【関】漢字の読み方に興味をもち、音訓や送り仮名について知ろうとしている。 【言】漢字の読み方の種類や送り仮名の働きを理解している。		
5月	2 だん落のつながりをとらえながら読もう	ヤドカリとイソギンチャク	・段落と段落の結びつきを考えながら読み取る。	8	18	○			○	○	【関】ヤドカリとイソギンチャクの関係に興味をもち、感想を出したり、まとまりどうしの結びつきについて考えたりしようとしている。 【読】段落相互の関係に気をつけながら、内容やまとまりどうしの結びつきについて読み取っている。 【言】指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使っている。	中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。☆
		案内係になろう	・相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話す。	3		○	○			【関】相手の立場に立って、必要なことを伝えようとしている。 【話聞】相手の質問に応じて、必要な内容は何かを考えて話している。	相手の目的に応じて、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す。☆	

1 学期		わたしが選んだ今月のニュース	・出来事を分かりやすく報告する文章を書く。	4	○	○	○	○	○	【関】出来事を分かりやすく伝える文章を書こうとしている。 【書】出来事を伝えるために大事な事柄を落とさずに文章を書いている。	関心のあることなどから書くことを決め、書く上で必要な事柄を落とさず書く。☆		
		漢字辞典の使い方を知ろう	・漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用する。	3	○				○	【関】漢字辞典の便利さに気づき、活用しようとしている。 【言】漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を理解している。			
	3 人物の様子や気持ちを考えながら読もう	6月	走れ	・中心となる人物に気をつけて、様子や気持ちを考えながら読む。 ≪単元の評価規準≫ 【関】物語に興味をもち、登場人物の性格や気持ちの変化を考えながら読み、中心人物になりきって手紙を書こうとしている。 【読】 ・中心人物に着目して、叙述を基に人物像や対人物とのかかわりを考え、中心人物の気持ちの変化を読んでいる。 ・物語全体をとらえたうえで、中心人物の気持ちを想像して手紙に書いている。 【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて読んでいる。	8	20	○					物語に興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。	登場人物の気持ちの変化や情景などを想像して読む。☆
											○	登場人物や場面ごとの出来事を確かめ、内容の大体を読み取っている。	中心人物の気持ちの変化をとらえたうえで、中心人物になったつもりで対人物にあてた手紙を書き、友だちと交流する。
											○	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて読んでいる。	
											○	人物の行動や会話などの叙述をもとに、人物の気持ちや関係を読み取っている。	
											○	場面と場面を関連づけて読み、物語全体を通して、中心人物の気持ちの変化を読み取っている。	
											○	物語の全体をとらえたうえで、中心人物の変化を一文で表現している。	
											○	【読】物語の全体をとらえたうえで、中心人物の気持ちを想像して、手紙を書いている。 【関】物語を読み取ったことをもとに、中心人物になりきって手紙を書こうとしている。	
			メモの取り方を工夫して聞こう	・事柄と事柄の関連に気をつけて話を聞き、工夫してメモを取る。	4	○	○			【関】話の中の事柄と事柄の関連を正しく聞き取ろうとしている。 【話聞】順序や理由を表す言葉に注意して聞き、事柄の関連が分かるように工夫してメモを取っている。	大事なことを聞き分けて、メモを取る。☆		

7月	4 目的による表した方のちがいを考えよう	広告と説明書を読みくらべよう 漢字の練習	・目的による表し方の違いを読み取る。	8	16	○			○	○	【関】目的による表し方の違いに興味をもち、進んで読み比べようとしている。 【読】広告と説明書の違いを、観点に沿って比較しながら読み取っている。 【言】送り仮名に注意して書き、また活用についての意識をもっている。	2つの文章を読み比べて、目的による表し方の違いを読み取る。☆
		わたしの考えたこと	・伝えたいことの中心を明確にし、文章の組み立てを考えて書く。	8		○			○	【関】自分の考えを伝えるための文章を書こうとしている。 【書】伝えたいことの中心を明確にし、組み立てを考えて文章を書いている。 【書】文章を読み返し、間違いを正したり、よりよい文章に書き換えたりしている。	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。☆	
		「ことわざブック」を作ろう	・ことわざや故事成語について知り、ことわざの意味を理解して使う。	6		○			○	【関】ことわざや故事成語に関心をもち、意味などを調べて使おうとしている。 【言】ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を理解するとともに、自分の表現で使おうとしている。	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使う。☆	
		本は友達	・読書への関心を高め、多様な本を読む。	2		○			○	【関】自分の興味にあった本を探し、読もうとしている。 【読】読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を読んでいる。	「四年生の本だな」や「きっとある君の心に残る本」を利用し、自分が読みたい本を選んで読む。☆	
9日	詩を読もう	ふしぎよかったなあ	・場面の様子を思い浮かべながら、詩を声に出して読む。	2	15	○			○	【関】楽しんで、詩を読もうとしている。 【読】情景や作者の思いを考えながら、詩を読んでいる。	情景や人物の気持ちを想像して、それにふさわしい読み方を工夫する。☆	
		「今の自分」を話します	・伝えたいことをはっきりさせ、材料を選んで話す。自分と比べながら聞く。	6		○	○		【関】自分のことを振り返り、伝えたいことがよく分かる材料を選んで話そうとしている。 【話聞】伝えたいことがはっきり分かるように、自分の考えや具体例を挙げて話している。話し手が言いたいことは何かを考え、自分と比べながら聞いている。	話し手の伝えたいことは何かを考え、自分と比べながら聞く。☆		

	<p>お願いやお礼の手紙を書こう</p> <p>・目的に合わせて書くことを選び、依頼状や礼状などの手紙を書く。</p>	4	○	○	○	○	<p>【関】目的に合わせて、お願いやお礼などの手紙を書こうとしている。</p> <p>【書】形式をふまえて、目的に合わせて書くことを選び、相手に応じた言葉遣いで手紙を書いている。</p>	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書く。B(2)エ	
	<p>文末の言い方に目を向けよう漢字の練習</p> <p>・文末表現には、話し手や書き手の判断や物事のとらえ方が表れていることを理解する。</p>	3	○			○	<p>【関】文末表現について関心を持ち、その働きを知ろうとしている。</p> <p>【言】話し手や書き手の判断やとらえ方と文末表現との関係を理解している。</p>		
<p>1 人物の気持ちの変化を考えて読ま</p>	<p>ごんぎつね</p> <p>・人物の気持ちの変化をとらえることができる。</p> <p>・物語の一場面を書き換えて、人物の気持ちについて考えることができる。</p> <p>《単元の評価規準》</p> <p>【関】物語に興味を持ち、人物の気持ちの変化をとらえようとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・内容の大体をとらえ、場面の様子や人物の気持ちを想像しながら音読している。</p> <p>・場面の移り変わりに気を付けて、叙述に即して人物の気持ちを読み取っている。</p> <p>【言】表現したり理解したりするために、必要な文字や語句について、辞書を利用して調べようとしている。</p>	14	○			○	<p>【関】どの場面のどんなごんが印象に残ったのかを考え、初発の感想をまとめようとしている。</p> <p>【言】必要な語句について、辞書で調べようとしている。</p>	<p>場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。☆</p> <p>最後の場面をごんの視点で書きかえる。</p>	
			○						単元の課題をたて、場面ごとに読み深めていく学習計画を立てようとしている。
							○		叙述を基に、ごんの境遇や性格を読み取り、いたずらをするごんの気持ちを想像している。
							○		ごんの行動や心内表現に着目し、自分のいたずらを後悔するごんの気持ちを読み取っている。
							○		償いを繰り返すごんの行動に着目し、兵十への気持ちの深まりを読み取っている。
							○		兵十と加助の後をつけるごんの行動に着目し、ごんの期待と不安を読み取っている。
							○		前場面までのごんの行動と関係付けながら、ごんの葛藤と兵十への気持ちの深まりを読み取っている。
			22						

2 学 期	10 月	ごん の 気 持 ち の 変 化					○	ごんの気持ちの変化や兵十の気持ちの変化をおさえ、うなずいたごんの気持ちを読み取っている。		
							○	物語をごんの視点で考え、必要なことを書き加えたり書き換えたりしている。		
							○	ごんの行動や気持ちの変化を自分の言葉でまとめている。		
							○	これまでの学習を通して考えたことや、物語の続きを想像して書いている。		
		連詩にちょうせんしよう	・言葉から想像を広げて、詩を作る。	5	○	○		【関】想像を広げて友達と一緒に連詩を作ろうとしている。 【書】想像したことをもとに言葉を選んで連詩を作り、友達の作品の良さについて感想を伝え合っている。	言葉から想像したことを基に詩を作る。☆	
		文の組み立てを考えよう 漢字の練習	・主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成をとらえる。	3	○		○	【関】主語と述語の関係や修飾・被修飾の関係に気をつけて文の構成をとらえようとしている。 【言】主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、主語・述語の関係や修飾・被修飾の関係に気をつけて文の構成をとらえている。		
	2 く ら し の 中 の 世 界 に つ い て 調 べ て み よ う	くらしの中の和と洋	・まとまりごとの内容や、何をどのように比較しているかを考えながら読み取る。	11	○		○	○	【関】暮らしの中の文化に関心をもち、進んで資料を探して調べたり、「『くらしの中の和と洋』ブック」を作ったりしようとしている。 【読】まとまりごとの内容や対比されている事柄に注意して、短く要約しながら読み取っている。 【言】指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使っている。	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり要約したりする。 ☆ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書く。B(2)ウ
				17						

11月	よつ	みんなで話し合っ て 漢字の練習	・話し合いの基本的な進 め方を知り、司会を中心 にそれぞれの役割を果 たしながら話し合う。	6		○	○				【関】司会の役割の重要性を知り、互いの 伝えたいことを考えながら話し合おうとし ている。 【話聞】話し合いの進め方を理解し、互い の意見や考えを比べながら、理由をはっ きりさせて話し合っている。	司会や提案などの役割を果たしな がら、進行に沿って話し合う。☆					
	3 取材した ことをもとに 学級新聞を 作ろう	みんなで新聞を 作ろう	・取材したことを整理し て、分かりやすい記事を書 く。読み手の興味をひ く書き方を工夫する。	12	15	○		○			【関】調べたことを新聞の形式で伝えるこ とに興味をもち、新聞作りに取り組もうと している。 【書】新聞の形式を知り、読み手の興味を ひくように資料を選んだり、見出しを立て たりして新聞を書いている。 【書】分かりやすい記事になるよう、大事 なことを落とさずに整理して書いている。	書こうとすることの中心を明確に し、整理して書く。☆ 収集した資料を効果的に使い、説 明する文章などを書く。B(2)ウ					
12月		文と文をつなぐ言 葉の働きを考えよ う 漢字の 練習	・文と文を接続する言葉 の働きを理解する。	3		○				○	【関】文と文を接続する言葉に興味をもち、 知ろうとしている。 【言】文と文を接続する言葉の働きを理解 し、使っている。	接続語が文と文との意味のつなが りに果たす役割を理解し、使う。☆					
4 家族やる さを思う心		世界一美しいぼく の村	・家族やふるさとを思う心 をえがいた、いろいろな 本を読む。 《単元の評価規準》 【関】興味をもって家族や ふるさとを思う心をえが いた本を読み、ポスター でその心を伝えようとし ている。 【読】 ・場面の移り変わりに注 意しながら、中心人物の 気持ちの変化をとらえ、 家族やふるさとを思う気 持ちを読み取っている。 ・ポスターにまとめるた めに、テーマに合った本を 選んで読んでいる。 【言】言葉には、考えたこ とや思ったことを表す働 きがあることに気付いて 物語を読んでいる。(10		○						物語に興味をもち、並行読書やポスター 発表会などのこれからの学習に意欲的に 取り組もうとしている。	場面の移り変わりに注意しながら、 登場人物の性格や気持ちの変化、 情景などについて、叙述を基に想 像して読む。☆ 目的に応じて、いろいろな本や文 章を選んで読む。☆ 自分が選んだ家族やふるさとを思 う気持ちをえがいた本を読み、心 に残ったことをポスターにまとめ、 友だちに伝える。				
										○					物語の場所や状況、人物をとらえてい る。		
										○						・叙述をもとに出来事の大体と中心人物 の気持ちの変化をとらえている。 ・中心人物の行動や会話などの叙述をも とに、中心人物の家族やふるさとを思う 気持ちを読み取っている。 ・物語の最後の一文について自分の考え をもち、話し合う中で自分の考えを深めて いる	
															○		言葉には、考えたことや思ったことを表す 働きがあることに気付いている。
															○		心に残った場面や言葉、どんな心がえが がれているかを意識して、本を読ん でいる。

3 学期	1 月	をえがいた本を読もう			19					○	友だちに本を紹介するために、必要なことを確かめ、ポスターにまとめている。				
										○	自分が選んだ本の家族やふるさとを思う心や心に残ったことなどをポスターで友だちに伝えている。				
		「百人一首」を声に出して読んでみよう	・短歌を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。	4		○					○	【関】短歌について知り、五音と七音の組み合わせによるリズムに親しもうとしている。 【言】言葉の響きやリズムを感じ取りながら短歌を音読し、情景を思い浮かべている。	易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりする。☆		
		目的に合わせて書こう	伝えたいことに合わせて必要な資料を選び、伝える内容や形式を考えて文章を書く。	5		○			○			【関】伝える内容や形式を考えて文章を書こうとしている。 【書】目的と形式に合わせて必要な資料を選び、伝えたいことを文章に書いている。	収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ		
		5 調べたことをポスター発表で報告しよう	報告します、みんなの生活	・調べたことを整理して、ポスターを使いながら順序よく報告する。	12		○			○			【関】ポスターを使って分かりやすく発表しようとしている。 【話聞】ポスターを使いながら分かりやすく発表したり、聞き手の様子を見ながら話したりしている。	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。A(2)ウ	
		同じ読み方の漢字に気をつけよう漢字の練習	・それぞれの漢字には意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分ける。	3	15						○	【関】同音・同訓の漢字に興味をもち、読み方と意味の関係を知らうとしている。 【言】同音・同訓で意味の違う漢字があることを理解している。			
		6 わたしたちの生活とロボットについて考えよう	「ゆめのロボット」を作る	・筆者の考えがどんな言葉で表されているかに注意して読み、文章を読んで考えたことを理由や例を挙げながら書く。	11	18					○	○	○	【関】人の役に立つ機械に関心をもち、筆者の考えを参考にして自分たちの生活とロボットのかかわりについて考えたりまとめたりしようとしている。 【読】筆者がどのような事実を理由や例として挙げ、願いや考えを述べているかを読み取っている。 【言】言葉には、考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づいている。	中心となる語や文をとらえて、事実と意見との関係を考え、文章を読む。☆ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。☆

3月		「十さいのわたし」 文集を作ろう	・1年間の思い出や未来の自分への手紙を書き、文集にまとめる。	7	21	○		○			【関】現在の自分を振り返り、考えていることを文章に書こうとしている。 【書】1年間の思い出や未来の自分に伝えたいことを選び、自分の考えや気持ちを分かりやすく書いている。	書こうとすることの中心を明確にし、自分の考えや気持ちを分かりやすく書く。☆
		漢字を使って読みやすい文を書こう 漢字の練習	・漢字の良さを知り、漢字と仮名を用いた表記に関心を持つ。	11		○				○	【関】漢字と仮名に関心をもって文を読んだり書いたりしようとしている。 【言】漢字の良さを理解し、分かりやすい漢字仮名交じり文を書いている。	
	7 様子が分かる音読げきをしよう	木竜うるし(人形げき)	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読劇をする。	10		○				○	【関】読み取ったことを音読劇で表現しようとしている。 【読】登場人物の行動や会話をもとに、登場人物の性格や関係などを読み取っている。	登場人物の性格や関係などを読み取り、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して音読劇をする。☆